（活動報告書様式）

団体名	大山観光協会		
事業名	「大山大好き人間」育成・拡散事業		
助成事業区分	協働助成事業（テーマ希望型） 【テーマ：やまがたまちづくり活動支援事業】		
団体の 所在市町村	鶴岡市	事業費	２７１，０５０円
		うち助成金額	２４０，０００円

冊子寄贈の様子を伝える「広報大山」の記事（令和２年３月 15 日号）

同じ「広報大山」の記事から。左の写真は今年２月の「大山新酒・酒蔵まつり」のスナップで、下から２番目が当日のガイドの様子を伝えている。

事業目的

少子高齢化、人口減少、地域力の衰退が言われる現状にあって、なおかつ持続可能な地域であり続けるためには、ジモト＝大山を知り、大山を愛してやまない人間を、地域の内にも外にも育てることが必要である。「大山大好き人間」を育成・拡散する仕掛けづくりの第一歩として、地元愛を醸成する基礎資料の発掘・整備・普及活動をスケジュール化することで「ソフト」面の整備を図り、将来的に「ハード」面の整備に繋げる。

実施内容

１）地域学習の副読本として『武藤氏史話』『大山犬祭り物語』『大山あれこれ／大山町内のあゆみ』を大山小学校と第五中学校へ各１００冊寄贈。２）大山の観光地図をリニューアルし、大山駅に設置。３）大山三大祭りでの観光ガイド実施。令和２年２月８日（土）「大山新酒・酒蔵まつり」ガイド参加人数 27 名。

事業の成果と展望

１）地域学習に側面から協力することで地域の子供たちの郷土への関心が増し、独自の調査や資料づくりにつながっている。昨年は、修学旅行先での大山 PR を考え、五中の３年生が独自に観光パンフレットを作成した。２）鶴岡市文化財愛護協会や他地区の観光ガイド団体との交流が進んでいる。今秋は大山地区で前者の研修会開催を実施予定。櫛引地区団体との交流会も予定に入っている。

今後の展望

１）新型コロナウイルス禍のため実施できなかった大山小学校・鶴岡第五中学校への出前講座を、状況を見てぜひ実現したい。２）郷土資料の掘り起こしを続け、冊子化をいっそう推し進めたい。３）デジタルツールをどう実現するか。予算、時間、スタッフの確保を具体的に検討したい。４）研鑽怠りなく、コロナ禍収束の折には今年中止になった「大山公園さくらまつり」「大山犬祭り」での観光ガイドを実施する。